

平成30年度に実施した主な安全対応訓練等の検証について

*曝露事故(BSL4 実験室)を想定した対応訓練の検証状況(概要)

村山庁舎 8 号棟 BSL4 実験室内で曝露事故（針刺し事故）が発生したことを想定し以下のように対応訓練を実施した。

1 目的

曝露事故（BSL4 実験室）が発生したときの初動対応、曝露者搬送及び関係者への情報伝達方法を確認するとともに、職員の対応能力の向上を図る。

2 実施日時

平成30年10月10日（水） 13:30～16:30

3 実施場所

国立感染症研究所村山庁舎（BSL4 実験室）、国立国際医療研究センター病院（搬送先：新宿区戸山）

4 関係部署（所内）と所外訓練参加機関

国立感染症研究所（ウイルス第一部、感染病理部、バイオセーフティ管理室、総務部業務管理課）
国立国際医療研究センター病院、厚生労働省、武蔵村山市

5 訓練実施経過概要

(1) 訓練参加者機関へ対応訓練実施要領に基づき、事前に訓練実施協力要請と所内参加者は訓練シナリオの確認を行った。

(2) BSL4 実験室内で針刺し事故が発生し曝露者を搬送し入院までの想定で訓練を開始した。

①初動対応：

- ・曝露事故発生時の実験室内での応急処置および管理室への連絡。
- ・管理室担当から応急対応医師など所内関係者への連絡。
- ・応急対応医師による診察と担当部長、曝露者への説明。
- ・搬送車の手配。

②関係機関等への伝達・報告・情報提供

- ・医療センターへの受入要請と到着予定時刻の連絡。
- ・厚労省結核感染症課、武蔵村山市への通報と搬送出発時に医療センター、厚労省へ連絡。
- ・副所長はじめ所内関係委員会への連絡（曝露事故発生と搬送）

③搬送と入院

- ・村山庁舎から曝露者を公用車にて医療センターへ搬送。
- ・病院内で担当医から問診などの後、入院。

(3) 参加者による訓練内容についての意見収集

6 訓練結果（検証）

- ・想定した訓練の実験室内応急処置、初動対応、関係者への連絡等ほぼ予定通りに実施できた。
- ・各所の協力により実際に発生した場合の搬送までの過程を確認でき応急時対応が向上できた。
- ・曝露発生時の対応について参加者からのコメントを踏まえ今後の対応手順の改善に有用であった。